Hayashi
Bueno 407

(1) Nº 2.070

NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

5ª, FEIRA 2 DE MAIO DE 1940

聖市コンデデチンジョ
アキン後九三番地
郵函二七六五
發行所 聖州新報社
電話 一人香山 蕗子
購讀料 一年四拾錢
廣告料 一段七二錢
NOTICIAS DE SAO PAULO
Caixa, 2765 – Fone. 7-0447
R. Conde de São Joaquim, 93
S. Paulo - Brasil

聖市新報

畏し・陛下民情を御宸念
情況御聽取遊ばさる
米内首相の訓令要旨

（東京一日同盟日本）政府の重要政策決定のため召集された地方長官等は二日付けられ次いで豊明殿に於て午餐の御陪食仰せ付けられたが、畏くも情に御宸念あらせられ午前午後約四時間に亘り地方長官より管下の狀況を御聽取あらせられたは一日米内首相の地方長官に對する訓令要旨左の如し

過般新國民政府樹立したが帝國政府の方針はすでに累次中外に聲明した通り確固不動である、現下歐洲大戰情勢は次第に複雜化して行くが帝國としては飽迄不介入の方針を堅持する且つ自主的立場に立つて之を善處する考である、新る內外非常の時局を突破するために今般機構を改め運用改善を計る事とした即ち

一、官紀肅清　生產品擴充、貿易振興　運送力增進

一、物價對策、米穀肥料其他必需品對策等には深甚の努力をしてゐるが一般國民も戰時に適當した生活をなすに非ざれば事變目的の完遂は期し難い、又事變以來の國民精神總動員は相當の業績を擧げてゐるが更に過般之を强化する決心である、尙全國民も一層戰時意義に徹し戰時經濟道德を實踐し各自の生活を緊縮する必要がある、政府は更に商品規定を强化するため一段と努力する考へで

地方長官會議

のるが國民も亦極力無駄を除き濫費を防ぎ貯蓄を旨とし各自生活を瀟洒する必要がある

獨・諾威作戰成功
各地に英軍を擊破す
オスロ　トロンハイム間獨軍占據

（伯林三十日同盟日本）獨逸軍司令部發表、オスロより北上せる獨逸軍部隊は三十日ステーレン西南方の鐵道線路上に於てトロンハイムより南下せる友軍部隊と相會しここに獨逸軍はオスロ　トロンハイム間の陸上連絡を成功した

一、トロンハイム及びドンバスに通ずる各道路を進擊中の獨逸軍は英佛軍を一九日各所に於て迎擊して伏

（伯林三十日同盟日本）獨逸軍司令部發表、退却する敵を追つてグザブランダール谷を急進中の獨逸軍は三十日正午交通の要衝タンバスを占領

方トロンハイム、ダンバス鐵道に沿ひ南下せる獨逸軍はステーレン、ダンバスの中間要地オブダルを占領、ここに於てオスロ、トロンハイムを繋ぐ主要鐵道は完全に獨逸軍の掌握する所となつつ

減せしめ敵大部隊を捕虜し多數軍需品をろ獲　目下ドンバスに向け進擊中である

一、リレハマル北西に於てはノルウエー聯隊長以下二千五百名が降服した

一、我が軍はナムリス・アグルネス附近に於る敵上陸部隊及び軍需品に大損害を與へた

（伯林三十日同盟日本）獨逸

英の敗色濃厚
首相陸相口を鉞す

（ロンドン三十日同盟日本）軍方面よりの情報によればノルウエーにおける戰況はいよ〳〵ドイツ軍に有利に展開し軍則に關係するとトロンハイム南方の要衝ステーレンは三十日遂に陷落し、ドンバス方面の英ノルウエー遠征軍の地位も次第に危地に陷りつつある模樣である、廿二十日の英下院ではノルウエー戰況に關する質問が續出し

が、チエンバレン首相並びにスタンレー陸相は戰況は追つて詳細發表する、現在の處軍則に關係するとて一切答辯を拒否した

（ロンドン三十日同盟日本）英陸軍省三十日發表、英ノルウエー軍は二十八日頃要衝ドンバスを確保すべく新事態に備へる爲若干の後退を行つた

英佛敗戰の報に
政界不滿の聲轟々

（ロンドン二日同盟、日本）英佛軍のノールエー作戰における敗戰の報頻りに傳へられるに伴ひ英國政界においては現政府に對する不滿の聲がやうやく昂まりつつあり、議會方面に從來唱道された大物を無任所相とする戰時內閣の細胞式の要塞が又々擡頭し英政界の巨頭ロイド・ジョージ翁の入閣を支持してゐる

戰時內閣改造の要望擡頭す

伊に多大の衝激
英船の地中海回避令
英のそ置に伊政界の觀測

（ロンドン一日同盟）下條發、英國政府が三十日突如自國船舶の地中海航行を禁止したことは伊太利にも多大の衝激を與へたが伊太利政界では英國政府が今回かかる措置に出た理由として

一、地中海に於ける伊太利の行動開始に對する懸念

一、地中海又はバルカン方面に於ける英佛の予備手段の何れかに歸するものと見次に來るものとしては英佛側が

一、スエズ、ヂブラルタル兩地點の封鎖に依る地中海封鎖

一、トルコを壓迫してモントルー條約を一方的に廢棄せしめダーダネルス海を英佛に開放せしめる

一、同時にギリシヤの中立を犯かし英佛兩軍の根據地とする

等の手段に出るものではないかと警戒して居る

伊參戰は尙早
未た交渉の餘地あり

（ローマ一日同盟日本）英國政府の英船希望峰廻航措置は伊太利政界に甚大な衝擊を與へてるが、伊太利官邊では英國政府今回の措置は全く不必要なもので且情勢を複雜化せしめんとするものであるとの見界を持してる一方、伊太利政府は丹日重要閣議を開き對英佛ユーゴー、バチカン關係に關して愼重檢討を遂げたと傳へられるが、然し伊太利の參戰必至と觀るは未だ尙早の觀を免かれず　今後英伊交渉により兩國間の關係は解決し得る余地ありとされ伊太利豪華船レツス號が一日ナポリを出帆した事によつても伊太利が直に參戰する意志を有しない事が觀取される

伊コンムニケ發表

（ローマ一日同盟・日本）伊太利政府は英國の地中海廻避希望撤廻聲明をコンムニケとして一日午後三時半發表した、伊太利政府がこれをコンムニケとして發表したことは如何に英國政府今回の措置を重大視してるかを物語つたもので、恐らく茲數日中に對抗的聲明を發表するものと見られ、ローマ外交界も頗る緊張伊太利の態度を注目して居る

エヂプトも防衛準備

（カイロ二日同盟・日本）英國政府の自國船舶の地中海行禁止以來、地中海をめぐる情勢は一段と緊張を加へるに至りイタリー政府は右の成る左の如き提案を敵皇に提示したと云はれる

一、地中海におけるイタリーの地位强化

一、バルカンにおける英國の經濟工策がイタリーの權益を侵かさぬことを英國が保證する

一、獨伊軍事同盟の建前上聯合國がナチス政權の瓦壞並びに獨逸の分割を繋する場合、イタリヤは無關心たり得ずとのイタリーの立場を

英、伊正面衝突回避に
ローマ法王乘出す
伊の提案で妥協成るか？

（ニューヨーク一日同盟）英伊國交の緊張が傳へられてる折柄、一日ニューヨークに達したU・Pローマ電は過般來ローマ敎皇は英伊兩國正面衝突を回避すべく兩國の意嚮を打診中であつたが、最近に至

確認する

一、英國は今後對獨經濟封鎖によるイタリー海運業に支障を及ぼさぬことを保證する

尙敎王聽方面では右提案中第二項を出發點として交渉を開始すれば英伊兩國に妥協の成立する可能性ありとなしてゐると傳へられる

その結果は或ひは伊太利の動向を決定するものではないかと各方面ともこれを注視してゐる

（ローマ一日同盟、日本）伊太利政府は一日ムツソリーニ首相司會の下に閣議を開き左の重要事項を決定した

一、國民の負擔均衡と稅收增加の爲戰時利得稅の創設

一、他國との新協定の承認

一、陸海軍の進級及び裝備の改正法案

尙他國との新協定承認は如何なる國との協定であるかその內容は發表されないが時節柄注目されてゐる

佛伊惡化の兆

（巴里一日同盟日本）佛蘭西外務省スポークスマンは一日フランス外務省は佛伊關係の緊迫化に重大關心を有する旨左の如く言明した

伊太利の對英佛態度は最近二日間決定的に警戒を要する性質のものとなつた、フランス外務省は佛伊關係の將來に重大關心を有し、卒直に不安を認めるものである、然しこれは特別の事實に基くものではなく、寧ろ一般的空氣から斷言したものである

伊の緊急閣議
重大決定事項を發表

（ローマ三十日同盟、日本）ムツソリーニ首相は一日ベネヂア宮に閣僚の參集を求め、何事か重大事項を協議することとなつた。ローマ各紙も右閣議の重見性を强調して屬り

（東京一日同盟・日本）三十日來朝の挨拶を述べた日來朝せる比島高等辨務官スヤーは一日正午グルー米大使に伴はれ、外務省に有田外相を訪問、來朝の挨拶を述べた後、東に於ける日米諸問題に關し種々意見の交換をとげ、午后零時三十分辭去した

比島辨務官外相を訪問

にわたり非常警察措置を實施

英佛敗戰の報に
政界不滿の聲轟々

（ロンドン二日同盟、日本）英佛軍のノールエー作戰における敗戰の報頻りに傳へられるに伴ひ英國政界においては現政府に對する不滿の聲がやうやく昂まりつつあり、議會方面に從來唱道された大物を無任所相とする戰時內閣の細胞式の要塞が又々擡頭し英政界の巨頭ロイド・ジョージ翁の入閣を支持してゐる

戰時內閣改造の要望擡頭す

お願ひ

今般弊社の第二事業「在ブラジル日本人々名錄」編纂資料調査の爲左記の通り各社員が顧客の地方に御願ひ致しました

パ延長線　ポンペイア　キンターナ　サンターナ　トゥパン　方面　野尻　定高

同　ガルサ　方面　三浦義比古

同　マリリア　ヴェラクルース　方面　山本　善造

同　パウルー　方面　鄭譚　榮佑

ソロカバナ線ブ・プルデンテ方面　江川悅一郎

マルチノポリス方面　金口　貞男

ブ・ウエンセスラウ方面　佐藤　實

アバレー方面　鄕　正大

ランシヤリヤ　三浦清五郎

パストス　方面　平兵　譽

パラガスー　方面　井東　貞夫

就きましては御多忙中甚だ恐入りますが、御引渡の上何卒宜敷御援助下さる樣御願ひ致します

昭和十五年四月

日伯情報社

聖市　郵函　一六一番

各方面在住者殿

日支抗爭の根本を說き 聖戰完遂に萬全を期す

板垣派遣軍參謀長 パンフレットを配布

派遣將兵に告ぐ

還兵に告ぐ等十六項に亘るものでその要旨左の如し

（南京三十日同盟）紀元二千六百年の天長の佳節に當り支那派遣軍司令部では、聖戰の完遂を期し板垣參謀長の名を以つて「派遣將兵に告ぐ」と題するパンフレットを全線將兵に配布した、右パンフレットは四六版二十九頁もので事變發生の根本原因、抗戰の對照、事變解決の方法と將兵の行動歸還兵に告ぐ等十六項に亘るものでその要旨左の如し

一、近世に於る日支兩民族の對立抗爭の根本原因は主として日支兩國が共に東洋人たるの自覺を忘却し個人主義的歐米の物質文化に幻惑した事に歸する、即ち支那の爲政家は事毎に歐米に依存し我國民は戰勝者の地位に於て侮支排歐の弊に陷つた事が今日の惨態に立至つた所以である、從つて兩民族が共に東洋への自覺に於て日支關係の根本的是正を圖る事が今次事變の目的である

二、英國は長江財閥を基礎とする國民黨內に勢力を扶植し、支那に於る獨占地位を擁護せんとし、之に對しソ聯は農民層を獲得し支那赤化を企圖してゐる、而してこの本質を異にする二勢力を背景とする國共兩黨は夫猿同吼鼎共合作を以て今事變に臨んだのであるが、最近英蘇は利害打算の結果對日妥協の態度を示してゐるに反し、共產黨は重慶を脅迫して抗戰を繼續の盲動を爲してゐる

我抗戰の對象は英米佛ソの煽動に踊りつつある抗日政權であつて、決して支那の良民ではない、歐米諸國の重慶援助の目的は嗾使の外、日本の援助による支那の獨立を恐れてゐるからである、又ソ聯の企圖は抗戰繼續による日支兩國の國力消耗であつてともに道義に反し打算に立脚す

四、今次事變の本質は善隣友好、共同防共、經濟提携を三原則とする、日滿支三國關係の調整であり、更にこれを基礎とする東亞再建への發足である、從來日本において稍もすれば支那を細分弱化して此を操縱せんとする考へを持つ者が絕無でなかつたが、これは支那を侵略せんとする歐米の模倣であつて斷じて聖戰の目的では無い、日本が支那統一の民族的要求實現に勢力を惜まざる大決心を固めた秋、初めて日支善隣の結合は現れた、不當利得を望み或は支那を日本の植民地の如く考へる者があれば道義日本の本質に反する、然し東洋永遠の平和の基礎は日滿支三國の同等結合の上に東亞聯盟を結成することによつて實現される、亞聯盟の意義は東亞の安定と發展とを確保し、世界平和の再建に貢獻せんとするもので、まづ日滿支三國を以つてこれが基礎とする三國以外の諸國がこれに加入することを當然の發展として期待するところでこれに協力せんとする歐米諸國の進出は勿論歡迎する

五、大陸に進出する邦人中には日本人の面汚しとなる者も少くない、三万の英靈不良邦人の懷を慰すため日支兩民族を再び抗爭に導くが如き結果を見たら地下で何と訴へもだらう、日支兩民族永久の結合のためには宜く支那民族の本質を正視し、その傳統の習慣を尊重し、信を腹中に置くの雅量を必要とする、更に第三國人に對してもその本國政府の非道の故をもつて罪なき國人に報復するが如き皇軍將兵の本心が聖戰目的の眞意を曲解するものと認む、尙も東亞の攪乱を計るものあらば當今國家に決意において當該國家に對して一刀兩斷の施策に出るものであることを特に留意あらんことを望む

定例閣議

前線に銃後の憂

吉田厚相の現地報告

（東京三十日會議）閣議に於ける米內首相の訓辭は二十日午前十時より約十分間で終へて歸京した吉田厚相より首相官邸に於る閣議、首相は以下各閣僚出席、石渡書記官長より來る二日より明備される地方長官會議の中心問題となつてゐる事は極めて遺憾である、政府はこれに對し何らか對策を講じ斯の如き流言に對する適當の措置をとる必要がある旨を強調、藤原商相は石炭配給統制法の施行につき報告した、石炭配給會社の設置準備は一応の開設の予定を早めて本體、月一日より業務を開始し得る見込みである

蘭印の軍擴案

土民側は大反對

（バタビア廿九日同盟）蘭印民參議會特別議會は廿九日過般來審議中であつた總額億八千三百万ギルダー（邦貨約六億六千万円）に上る海軍擴張法案を滿場一致可決した右法案は戰鬪巡洋艦三隻建造及びスラバヤ軍港擴張を中心とするもので、計畫完成期は一九四六年となつてをり直ちに、オランダ本國議會に回附される筈である、尙土民側は右軍擴案に對し猛烈に反對して

伊太利參戰近し

（紐育廿九日同盟）イタリヤの參戰機運濃化が傳へられる折から廿九日のUPローマ電はイタリアの新總動員並に反

（紐育二十九日同盟）ストックホルム電によればグズブラタール峽谷を逃れて積雪の山嶽地帶を突破したドイツ機械化部隊は二十九日午前頃に開戰されんとしてゐる、尙目下ノールウエーに在るドイツ軍總兵力は八万、英佛軍兵力は四万五千といはれる

近く雌雄決せん

諸威南方に兩軍集結

獨六万、英佛四万五千と號す

これを切望すべく行動を開始したが、これに對し英佛軍は又主力部隊をこの地方に集結邀擊の態勢を持してゐるといはれ今やノールウエーの南部支配權を奪する一大決戰が展開されんとしてゐる、尙目下ノールウエーに在るドイツ軍の一齊檢擧を行つた、尙右檢擧に際し官憲が押收した武器の中にはドイツ製機關銃、小銃、鐵兜銃劍等の多數發見された

本庄將軍

前線を慰問

（東京廿九日同盟）本庄軍事保護院總裁は北支、蒙彊及び中支方面に於る第一線の狀況を視察、直接將兵、意見を聞き軍事援護事業に資するとともに前線將兵を親しく慰問することになり歌藤援護部長を滯同し來る十一日東京驛發約一ケ月の予定で各地を巡歷する事になつた

（パナマ廿九日同盟）次期大統領選擧に關聯しパナマ國內革命陰謀があるとの噂は最近頻りに傳られてゐたが、廿九日パナマ官憲は現政府反對派の大統領候補ドカルドノ ファロ氏支持派の一齊檢擧を行つた、尙右檢擧に際し官憲が押收した武器の中には

パナマに革命陰謀

東亞進攻態勢

隻數では現に世界一

（大毎より轉載）武富邦茂

アメリカ海軍

米國海軍現有勢力

米國海軍の現有勢力は昭和十四年九月の調査に從へば主力艦では既成のもの十五隻四十六万四千三百噸があり、このほかに三万五千噸、十六インチ砲八門のワシントンほか三隻を目下建造中であり、豫算を通過し未起工のものに同じく三万五千噸、十六吋砲九門のイシディア、アラバマ二隻および四万五千噸超弩級艦ノイオワ、ニユージヤーシーの二隻がある

航空母艦は現有五隻計二万七百噸のほかに目下建造中のワスプ、未起工ホーネットがあり、巡洋艦は甲級十八隻七万一千二百噸、乙級十八隻十四万九千三十五噸と、建造中の乙級巡洋艦一隻がある、さらに驅逐艦は現有二百十四隻、潛水艦九十六隻九万三千三百五十四万四千三百噸、十六隻百二十六万四千噸、潛水艦七十二隻七万四千二百五十噸になつてをり、隻數から言へば英國の三百二十八隻を遙かに凌駕してで世界一海軍である

米國海軍はさらにこれに附隨して、海軍航空機三千機整備計畫を樹て目下着々とその實現に向つて邁進してゐるである

米國海軍は常に艦隊本位であり、軍艦部を艦隊に編入して移動力を與へ、集團訓練に余念がないのである、空軍はたえず太平洋上の基地を强化することによつて艦隊との協力ならびに渡洋作戰研究に沒頭してゐる

米國海軍の新傾向として最近頓りに潛水艦作戰に力を集中し出したのであるが、これは要するに獨の對英作戰に倣つて一旦緩急の際東亞に於て潛水艦によつて敵國の通商を破壞封鎖せんとする手を目論んでゐるといふべきであらう

建艦計畫とその將來

目下開會中の議會においてヴインソン海軍委員長は今ゆる第三次ヴインソン案）を提出議畫」はまだその緒についたばかりで、大部分はいはゆる「紙上艦隊」である、それに今度おいて二億七千万弗のパナマ運河擴張費を通過せしめ一九四〇年から六年計畫で現有の幅百七十フイトを百三十五フイトに擴げる工事に着手した

米國海軍の建艦計畫は第一ヴインソン案により舊條約量までの兵力を保持しつつ第二次「ヴインソン擴張計畫」によつて一九三八年から四七年までの約十年間に戰艦十八隻、「航空母艦五隻、巡洋艦八隻、驅逐艦七十二隻、潛水艦二十六隻」だけを建造するのであるが、今期議會提出のいはゆる第三次ヴインソン案はきらに四年にかけて航空母艦三隻、巡洋艦八隻、驅逐艦二十六隻、潛水艦二十隻を追加することになつてゐたのであるが、今期議會提出のいはゆる第三次ヴインソン案はきらにこの計畫の上に全體の二割五分を增加し、一九四一年から

聖州新報

第二千七十九號　昭和十五年五月二日　(三)

今事變と少年航空兵の活躍

今度の支那事變に、わが陸海の荒鷲が縱横に活躍、全支那大陸の制空權を完全にわが鵬翼下に收めたことは、世界戰史に嘗て見ぬ驚異的な戰果である。そしてその中に幾多の少年航空兵のあることを忘れてはならない——。

★陸軍★

航空部隊と少年航空兵

今次事變、殊に最近の蒙疆國境戰に於けるわが陸軍航空部隊の活躍は眞に目ざましいものがあつた。その活躍の中に示された、うら若い少年航空兵の華華しい初陣の働きこそは、いろいろの角度から國民に認識を強めていただきたいものと思ふ

空中戰闘は他の戰闘に比べて多分の特異性を持つてゐる何よりも戰闘の勝敗が瞬時にして決するものであるといふことと、又それは喰ふか喰はれるか、墜すか墜されるかの絶對的勝敗で、毎回の出動がその度に死地に越くといふ決意でなされること、又技術上のちよつとした不注意　あやまちが決定的結果を與へること、群集心理など手傳はず獨立した個人の意思が最大限に要求されること等がその顯著な性質といふことができる

右のいづれを見ても超人間的なエネルギー、意思力、技術、純眞な人間性等が備はつてゐるといふことが、この空中戰闘者の不可缺條件とされてゐる。ここに選ばれる優秀な青少年の力、豐富な將來性が閉拓されなければならない

現代の戰闘に於て空軍部隊の占める位置の大きさはこゝに改めて說くまでもないが、最近のヨーロッパ動亂に於てもドイツはその空軍の優秀性を以て低に敵を威壓しつづけ英佛軍又立遲れた自國空軍の挽回に最大の努力をつづけ將に航空部隊の强弱が戰ひの鍵を握るが如き態度を示してゐる

支那事變に於ても、支那軍に對してはわが航空勢力の偉大さが戰闘を常に有利に導きノモンハンの戰闘に於ても極度の量的不均衡を克服して不滅の戰果を收め得た。特にこの國境戰線に於ては近代機械化兵器が戰闘の主力を占める量的質的優秀性を極度に要求されるに至つた

將來のわが國の發展を考へるとき、優秀な人的要素を充實し、器材の進歩と相まつて眞に實力ある航空部隊の建設の一日も早からんことを希ふのである。この重大な時期に於て少年航空兵の存在とその活躍は大いに期待されるのであつて、航空軍備の充實の成否は、少年航空兵の雙肩にあると言つても過言ではない

今次事變の實戰に於て、少年航空兵は如何なる場所で如何なる働きをしてゐるか、後に記すやうに、少年航空兵は飛行學校を十九歳から二十一歳位の間に卒業する。航空兵科といつても操縱整備、無線に分れてゐる

最も華やかに讃へられる操縱者は、常に死の門をくぐり通信兵、整備兵は世間的には操縱者のやうに目立つた存在ではなく、いはば緣の下の力持的な仕事に從ふものであるが各自よくその任務を盡してゐる

操縱者も戰闘、爆擊、偵察等種種の任務を持ち、整備員のちよつとした不注意　あやまちは爆擊機に搭乘して空中勤務もするが主として地上勤務の時が多い。また飛行機の活躍が主に書間であるから地上整備員は夜間その任務につくことが多いのである

整備員が飛行機を愛することはさながら生ける者に對する如くで、手入が終つて出發するまで愛機の手柄と無事歸還を念ずること、ちやうどわが子を送る母の如くである。また愛機の歸つて來る頃ともなれば外に出て空中にその姿を探し、地上に迎へては愛機のそばに走りより「よくも手柄をたててくれた、無事に歸つてくれた」と機を撫でながら感激の涙で迎へるのが常である

この純眞さと責任感の强さが、わが空軍の大きな支柱をなしてゐるのだ。徹夜の整備員も數もまれでない、かくて整備員を擁護したが、尾崎航空兵團の一員も遂に飛行機を愛する體力、技術力、意思力によつて困難な任務もよく果してゐる

通信兵は今次事變でその活動の重要性が特に强く認識された。機上での無線　射擊　通信等、通信兵の最大限の活躍と利用は、味方の作戰を有利に導く。時には新らしい飛行場設置のため部隊到着までの輜送通信を命ぜられたりする。しかも極く少數の人員で敵兵の妨害に遭ひながら數日の間に互つて離行路を續けたりする時、整備員同樣生命に代へて無線機を愛護し、困難な任務を果すのである。又このやうな時、多勢の敵兵の襲擊に遭ふこともある。しかし少年航空兵は敢然とこれに向ひ通信所の確保は勿論獨力で之を攻擊し、あつぱれ皇軍の名を辱めないのである

操縱者の活躍

昨年のノモハン空中戰闘では、彼我の出動機數が格段の差であつた。わが軍は常に數倍、十數倍の敵を相手に空中戰闘を行つた。それにもかかはらず赫々たる戰果を收め得たのである

いまそのいくつかの例について讀者に戰闘の模樣を知つてもらひたいと思ふ

A

花田富男准尉は少年航空兵第一期生であるが、昨年五月からのノモハンの空中戰闘に參加し、九月三十三日殉職するまで、戰闘に參加すること實に百回その優秀な技術と旺盛な攻擊精神とは、戰闘激烈になるに從ひますます光輝を放ち、敵E十五、E十六戰闘機計二十五機を擊墜した

七月五日のことである。「敵機來る」の報に勇躍出動しハルハ河上空に於て爆擊機約十機及びわれに數倍する戰闘機約三十機と交戰し、先づ敵機一機を擊墜後、隊長機に從ひ逃げる敵を追擊してゐる時、不意に後方より敵一機の奇襲を受けたので直ちにこれと交戰擊墜し、隊長はと探したが見えない。ふと下方を見ると落下傘が降下してゐるのでこれに接近し確めると之が隊長だつた。花田准尉は周到にその周圍を飛行して護に任じ遂にボイル湖東方の車輛群の附近に隊長が接地したので今准尉は身の危險をも顧みず敢然その傍に着陸し、火傷を負つた隊長を救つて無事に基地に歸還したのだつた。その沈着と機敏と勇敢と、そして上官を思ふ至情は正に武人の亀鑑であらう。しかも功を誇らず隊長がかうなつたことは自己の護の不充分なるためと深く陳謝したのである

同じく第一期生の金丸軍曹は徐州攻擊戰に參加中、敵機と遭遇し之を擊墜すべく最初機銃をはなつたが射とめ得なかつたので再度引金を引いたがどうしたのか故障を起してゐるのでしかも敵兵の妨害に遭ひながら數日ならば「體當りで」と猛烈に敵機を追つた。敵機はたまらず逃げるばかり。かうして體當りの決意も深く地上近く五千メートルから二百メートル位の低空を追ふこと十五分間、最後に敵は操縱を誤り百メートル位の處から地上へ激突し木葉微塵になつてしまつた。この旺盛な攻擊精神、常に命を捨ててこそ浮ぶ瀨もあれ」にしての殺然たる態度が「身を捨てのことわざの通り立派な戰のことわざの通り立派なもたらしたものといへよう

C

第四期生奥田軍曹はノモハン戰闘で先づE十六型一機を擊墜したところ、敵操縱者は落下傘で降下を初めたので全軍曹は自機の翼端で敵の落下傘を引つかけて破損させ敵を墜死させた。しかるに自らも離脫の際翼の一部を破損し機の自由を失つた。隊長に歸還を命ぜられたが、そのとき隊長は敵九機に取り圍まれてゐた。これを見捨てて還られようかと傷つき身でこの戰闘に參加し勇奮戰遂にその威を以て敵を畏怖遁走させ、隊長と共に全き得た。

右のやうな例は數限りなくある。否少年航空兵の一人一人がいづれもすばらしい手柄を立ててゐるのだ。敵に機數が多いだけに新敵々々を迎へなければならない。一日に四回も五回も出動することさへざらにある「出動——」の報で食べかけの食事もそのまま出て行く。夜寢ないことも毎回の出動に生還を期さないのだ。これは單なる義務的觀念のみでは遂げられるものではない、常に積極的な攻擊精神、自我を捨て生死を超越の信念　純情性、最大の技術的習得等の綜合された結果である。

飛行機の本質上、その搭乘員は智能と體力の點に於て極めて優秀であるとともに沈着で感かよく、瞬間的判斷を誤ればいふ離實性の持つ素質が必要求される。また搭乘員として最も活動できる年齡は二十歳から二十歳位までといふ最元氣旺盛な若若しい時代で少くともそれ迄に一切の教育訓練を完了していはゆる一粒選りのエキスパートたらしめねばならない。大空に志す青少年の憧憬の登龍門の一つである少年航空兵制度はこの要求から生れたもので、海軍に遅れること數年、昭和五年であつた

創設以來十年、横須賀霞ヶ浦航空隊を巣立つて空の第一線に活躍してゐる世紀の若武者はすでに第八期を數へてゐる。土官の搭乘員一般志願兵から採用された下士官搭乘員、少年航空兵（乙種飛行豫科練習生）出身の搭乘員これに加ふるに昭和十二年廢止された航空兵（甲種飛行豫科練習生）等相次いで颯爽と空の檜舞台に立つ海軍航空兵の一日も早からんことを希ふのである。この重大な時期に於て少年航空兵の存在とその活躍は大いに期待されるのである

通信兵の活躍

では、少年航空兵は如何なる場所で如何なる働きをしてゐるか、後に記すやうに、少年航空兵は飛行學校を十九歳から二十一歳位の間に卒業する。航空兵科といつても操縱整備、無線に分れてゐる

最も華やかに讃へられる操縱者は、常に死の門をくぐり通信兵、整備兵は世間的には操縱者のやうに目立つた存在ではなく、いはば緣の下の力持的な仕事に從ふものであるが各自よくその任務を盡してゐる

操縱者も戰闘、爆擊、偵察等種種の任務を持ち、整備員も時には爆擊機に搭乘して空中勤務もするが主として地上勤務の時が多い。また飛行機の活躍が主に書間であるから地上整備員は夜間その任務につくことが多いのである

整備員が飛行機を愛することはさながら生ける者に對する如くで、手入が終つて出發するまで愛機の手柄と無事歸還を念ずること、ちやうどわが子を送る母の如くである。また愛機の歸つて來る頃ともなれば外に出て空中にその姿を探し、地上に迎へては愛機のそばに走りより「よくも手柄をたててくれた、無事に歸つてくれた」と機を撫でながら感激の涙で迎へるのが常である

この純眞さと責任感の强さが、わが空軍の大きな支柱をなしてゐるのだ。徹夜の整備員も數もまれでない、かくて整備員を擁護したが、尾崎航空兵團の一員も遂に飛行機を愛する體力、技術力、意思力によつて困難な任務もよく果してゐる

通信兵は今次事變でその活動の重要性が特に强く認識された。機上での無線　射擊　通信等、通信兵の最大限の活躍と利用は、味方の作戰を有利に導く。時には新らしい飛行場設置のため部隊到着までの輜送通信を命ぜられたりする。しかも極く少數の人員で敵兵の妨害に遭ひながら數日の間に互つて離行路を續けたりする時、整備員同樣生命に代へて無線機を愛護し、困難な任務を果すのである。又このやうな時、多勢の敵兵の襲擊に遭ふこともある。しかし少年航空兵は敢然とこれに向ひ通信所の確保は勿論獨力で之を攻擊し、あつぱれ皇軍の名を辱めないのである

操縱者の活躍

昨年のノモハン空中戰闘では、彼我の出動機數が格段の差であつた。わが軍は常に數倍、十數倍の敵を相手に空中戰闘を行つた。それにもかかはらず赫々たる戰果を收め得たのである

いまそのいくつかの例について讀者に戰闘の模樣を知つてもらひたいと思ふ

A

花田富男准尉は少年航空兵第一期生であるが、昨年五月からのノモハンの空中戰闘に參加し、九月三十三日殉職するまで、戰闘に參加すること實に百回その優秀な技術と旺盛な攻擊精神とは、戰闘激烈になるに從ひますます光輝を放ち、敵E十五、E十六戰闘機計二十五機を擊墜した

七月五日のことである。「敵機來る」の報に勇躍出動しハルハ河上空に於て爆擊機約十機及びわれに數倍する戰闘機約三十機と交戰し、先づ敵機一機を擊墜後、隊長機に從ひ逃げる敵を追擊してゐる時、不意に後方より敵一機の奇襲を受けたので直ちにこれと交戰擊墜し、隊長はと探したが見えない。ふと下方を見ると落下傘が降下してゐるのでこれに接近し確めると之が隊長だつた。花田准尉は周到にその周圍を飛行して護に任じ遂にボイル湖東方の車輛群の附近に隊長が接地したので今准尉は身の危險をも顧みず敢然その傍に着陸し、火傷を負つた隊長を救つて無事に基地に歸還したのだつた。その沈着と機敏と勇敢と、そして上官を思ふ至情は正に武人の亀鑑であらう。しかも功を誇らず隊長がかうなつたことは自己の護の不充分なるためと深く陳謝したのである

同じく第一期生の金丸軍曹は徐州攻擊戰に參加中、敵機と遭遇し之を擊墜すべく最初機銃をはなつたが射とめ得なかつたので再度引金を引いたがどうしたのか故障を起してゐるのでしかも敵兵の妨害に遭ひながら數日ならば「體當りで」と猛烈に敵機を追つた。敵機はたまらず逃げるばかり。かうして體當りの決意も深く地上近く五千メートルから二百メートル位の低空を追ふこと十五分間、最後に敵は操縱を誤り百メートル位の處から地上へ激突し木葉微塵になつてしまつた。この旺盛な攻擊精神、常に命を捨ててこそ浮ぶ瀨もあれ」にしての殺然たる態度が「身を捨てのことわざの通り立派な戰のことわざの通り立派なもたらしたものといへよう

第四期生奥田軍曹はノモハン戰闘で先づE十六型一機を擊墜したところ、敵操縱者は落下傘で降下を初めたので全軍曹は自機の翼端で敵の落下傘を引つかけて破損させ敵を墜死させた。しかるに自らも離脫の際翼の一部を破損し機の自由を失つた。隊長に歸還を命ぜられたが、そのとき隊長は敵九機に取り圍まれてゐた。これを見捨てて還られようかと傷つき身でこの戰闘に參加し勇奮戰遂にその威を以て敵を畏怖遁走させ、隊長と共に全き得た。

右のやうな例は數限りなくある。否少年航空兵の一人一人がいづれもすばらしい手柄を立ててゐるのだ。敵に機數が多いだけに新敵々々を迎へなければならない。一日に四回も五回も出動することさへざらにある「出動——」の報で食べかけの食事もそのまま出て行く。夜寢ないことも毎回の出動に生還を期さないのだ。これは單なる義務的觀念のみでは遂げられるものではない、常に積極的な攻擊精神、自我を捨て生死を超越の信念　純情性、最大の技術的習得等の綜合された結果である。

飛行機の本質上、その搭乘員は智能と體力の點に於て極めて優秀であるとともに沈着で感かよく、瞬間的判斷を誤ればいふ離實性の持つ素質が必要求される。また搭乘員として最も活動できる年齡は二十歳から二十歳位までといふ最元氣旺盛な若若しい時代で少くともそれ迄に一切の教育訓練を完了していはゆる一粒選りのエキスパートたらしめねばならない。大空に志す青少年の憧憬の登龍門の一つである少年航空兵制度はこの要求から生れたもので、海軍に遅れること數年、昭和五年であつた

創設以來十年、横須賀霞ヶ浦航空隊を巣立つて空の第一線に活躍してゐる世紀の若武者はすでに第八期を數へてゐる。土官の搭乘員一般志願兵から採用された下士官搭乘員、少年航空兵（乙種飛行豫科練習生）出身の搭乘員これに加ふるに昭和十二年廢止された航空兵（甲種飛行豫科練習生）等相次いで颯爽と空の檜舞台に立つ海軍航空兵の一日も早からんことを希ふのである。この重大な時期に於て少年航空兵の存在とその活躍は大いに期待されるのである

航空學校の教育

この近代戰の花形少年航空兵は「天皇陛下の飛兵も、未だその制度が出來て僅か七年にしかならない昭和八年、幾多若人の中から撰ばれ熊谷陸軍飛行學校及び航空技術學校に入校したのが變り現在では東京陸軍航空學校で十六歳から十八歳まで入學させ、一年間總前途はいやが上にも力强さを感ずる

數年前濠洲からラグビー選手が來朝して横須賀のグラウンドで少年航空兵と試合をやつた時、外人選手らは「日本兵は必要な牲格を調べ操縱生徒に熊谷陸軍飛行學校に、整備生徒は水戸陸軍飛行學校に、無線生徒は水戸陸軍飛行學校に、整備生徒は陸軍航空政備學校に入學せしめられ皆二年間の專門的教育を受けることになつてゐる。こうして無敵だ」と異口同音に言はれたと言ふ。

今次事變の勃發、昭和十二年八月十四日のわが渡洋爆擊隊の一隊が猛烈な颱風を冒して抗州飛行場を空襲し格納庫三庫、外飛行機數機を爆破しなほ空中戰において敵機六機を擊墜して初陣の凱歌を奏した。

昭和拾二年八月拾四日に決行された第一回の渡洋爆擊は秒速二十六メートルを超える猛烈な颱風圏を突破して强行された。秒速二十六米を時速に換算すれば九十余粁　正に歐米戰爭初期の爆擊機の速力に等しい。この暴風の眞只中怒濤雲を噛む支那海を横斷雨と雲の壁をつざいて敵地に突入した神技に等しい卓拔の技倆はきることながら。速力の大、航續力の大、計器の精度、發動機の確度といふが如き近代航空機の高性能あつてはじめてよく卓拔の技倆を全幅發揮しうるものであることは何人も否定しえないところであらう

元來航空軍備といふものは必要な牲格を調べ操縱、無線、整備生徒たる資質を附與する。そしてそれぞれの適性を調べ操縱生徒に熊谷陸軍飛行學校に、無線生徒は水戸陸軍飛行學校に、整備生徒は陸軍航空政備學校に入學せしめられ皆二年間の專門的教育を受けることになつてゐる。こうして無敵だ」と異口同音に言はれたと言ふ。

今次事變の勃發、昭和十二年八月十四日のわが渡洋爆擊隊の一隊が猛烈な颱風を冒して抗州飛行場を空襲し格納庫三庫、外飛行機數機を爆破しなほ空中戰において敵機六機を擊墜して初陣の凱歌を奏した。

昭和拾二年八月拾四日に決行された第一回の渡洋爆擊は秒速二十六メートルを超える猛烈な颱風圏を突破して强行された。秒速二十六米を時速に換算すれば九十余粁　正に歐米戰爭初期の爆擊機の速力に等しい。この暴風の眞只中怒濤雲を噛む支那海を横斷雨と雲の壁をつざいて敵地に突入した神技に等しい卓拔の技倆はきることながら。速力の大、航續力の大、計器の精度、發動機の確度といふが如き近代航空機の高性能あつてはじめてよく卓拔の技倆を全幅發揮しうるものであることは何人も否定しえないところであらう

第三期飛行豫科練習航空兵出身者、海軍三等航空兵曹谷航空兵團の一員は、彼我の出動機數が格段の差であつた。わが軍は常に數倍、十數倍の敵を相手に空中戰闘を行つた。それにもかかはらず赫々たる戰果を收め得たのである

いまそのいくつかの例について讀者に戰闘の模樣を知つてもらひたいと思ふ

A

花田富男准尉は少年航空兵第一期生であるが、昨年五月からのノモハンの空中戰闘に參加し、九月三十三日殉職するまで、戰闘に參加すること實に百回その優秀な技術と旺盛な攻擊精神とは、戰闘激烈になるに從ひますます光輝を放ち、敵E十五、E十六戰闘機計二十五機を擊墜した

七月五日のことである。「敵機來る」の報に勇躍出動しハルハ河上空に於て爆擊機約十機及びわれに數倍する戰闘機約三十機と交戰し、先づ敵機一機を擊墜後、隊長機に從ひ逃げる敵を追擊してゐる時、不意に後方より敵一機の奇襲を受けたので直ちにこれと交戰擊墜し、隊長はと探したが見えない。ふと下方を見ると落下傘が降下してゐるのでこれに接近し確めると之が隊長だつた。花田准尉は周到にその周圍を飛行して護に任じ遂にボイル湖東方の車輛群の附近に隊長が接地したので今准尉は身の危險をも顧みず敢然その傍に着陸し、火傷を負つた隊長を救つて無事に基地に歸還したのだつた。その沈着と機敏と勇敢と、そして上官を思ふ至情は正に武人の亀鑑であらう。しかも功を誇らず隊長がかうなつたことは自己の護の不充分なるためと深く陳謝したのである

同じく第一期生の金丸軍曹は徐州攻擊戰に參加中、敵機と遭遇し之を擊墜すべく最初機銃をはなつたが射とめ得なかつたので再度引金を引いたがどうしたのか故障を起してゐるのでしかも敵兵の妨害に遭ひながら數日ならば「體當りで」と猛烈に敵機を追つた。敵機はたまらず逃げるばかり。かうして體當りの決意も深く地上近く五千メートルから二百メートル位の低空を追ふこと十五分間、最後に敵は操縱を誤り百メートル位の處から地上へ激突し木葉微塵になつてしまつた。この旺盛な攻擊精神、常に命を捨ててこそ浮ぶ瀨もあれ」にしての殺然たる態度が「身を捨てのことわざの通り立派な戰のことわざの通り立派なもたらしたものといへよう

第四期生奥田軍曹はノモハン戰闘で先づE十六型一機を擊墜したところ、敵操縱者は落下傘で降下を初めたので全軍曹は自機の翼端で敵の落下傘を引つかけて破損させ敵を墜死させた。しかるに自らも離脫の際翼の一部を破損し機の自由を失つた。隊長に歸還を命ぜられたが、そのとき隊長は敵九機に取り圍まれてゐた。これを見捨てて還られようかと傷つき身でこの戰闘に參加し勇奮戰遂にその威を以て敵を畏怖遁走させ、隊長と共に全き得た。

右のやうな例は數限りなくある。否少年航空兵の一人一人がいづれもすばらしい手柄を立ててゐるのだ。敵に機數が多いだけに新敵々々を迎へなければならない。一日に四回も五回も出動することさへざらにある「出動——」の報で食べかけの食事もそのまま出て行く。夜寢ないことも毎回の出動に生還を期さないのだ。これは單なる義務的觀念のみでは遂げられるものではない、常に積極的な攻擊精神、自我を捨て生死を超越の信念　純情性、最大の技術的習得等の綜合された結果である。

飛行機の本質上、その搭乘員は智能と體力の點に於て極めて優秀であるとともに沈着で感かよく、瞬間的判斷を誤ればいふ離實性の持つ素質が必要求される。また搭乘員として最も活動できる年齡は二十歳から二十歳位までといふ最元氣旺盛な若若しい時代で少くともそれ迄に一切の教育訓練を完了していはゆる一粒選りのエキスパートたらしめねばならない。大空に志す青少年の憧憬の登龍門の一つである少年航空兵制度はこの要求から生れたもので、海軍に遅れること數年、昭和五年であつた

創設以來十年、横須賀霞ヶ浦航空隊を巣立つて空の第一線に活躍してゐる世紀の若武者はすでに第八期を數へてゐる。土官の搭乘員一般志願兵から採用された下士官搭乘員、少年航空兵（乙種飛行豫科練習生）出身の搭乘員これに加ふるに昭和十二年廢止された航空兵（甲種飛行豫科練習生）等相次いで颯爽と空の檜舞台に立つ海軍航空兵の一日も早からんことを希ふのである。この重大な時期に於て少年航空兵の存在とその活躍は大いに期待されるのである

敵中で故障を空明

第三期飛行豫科練習航空兵出身者、海軍三等航空兵曹谷航空兵團の一員は、彼我の出動機數が格段の差であつた。わが軍は常に數倍、十數倍の敵を相手に空中戰闘を行つた。それにもかかはらず赫々たる戰果を收め得たのである

いまそのいくつかの例について讀者に戰闘の模樣を知つてもらひたいと思ふ

A

花田富男准尉は少年航空兵第一期生であるが、昨年五月からのノモハンの空中戰闘に參加し、九月三十三日殉職するまで、戰闘に參加すること實に百回その優秀な技術と旺盛な攻擊精神とは、戰闘激烈になるに從ひますます光輝を放ち、敵E十五、E十六戰闘機計二十五機を擊墜した

七月五日のことである。「敵機來る」の報に勇躍出動しハルハ河上空に於て爆擊機約十機及びわれに數倍する戰闘機約三十機と交戰し、先づ敵機一機を擊墜後、隊長機に從ひ逃げる敵を追擊してゐる時、不意に後方より敵一機の奇襲を受けたので直ちにこれと交戰擊墜し、隊長はと探したが見えない。ふと下方を見ると落下傘が降下してゐるのでこれに接近し確めると之が隊長だつた。花田准尉は周到にその周圍を飛行して護に任じ遂にボイル湖東方の車輛群の附近に隊長が接地したので今准尉は身の危險をも顧みず敢然その傍に着陸し、火傷を負つた隊長を救つて無事に基地に歸還したのだつた。その沈着と機敏と勇敢と、そして上官を思ふ至情は正に武人の亀鑑であらう。しかも功を誇らず隊長がかうなつたことは自己の護の不充分なるためと深く陳謝したのである

同じく第一期生の金丸軍曹は徐州攻擊戰に參加中、敵機と遭遇し之を擊墜すべく最初機銃をはなつたが射とめ得なかつたので再度引金を引いたがどうしたのか故障を起してゐるのでしかも敵兵の妨害に遭ひながら數日ならば「體當りで」と猛烈に敵機を追つた。敵機はたまらず逃げるばかり。かうして體當りの決意も深く地上近く五千メートルから二百メートル位の低空を追ふこと十五分間、最後に敵は操縱を誤り百メートル位の處から地上へ激突し木葉微塵になつてしまつた。この旺盛な攻擊精神、常に命を捨ててこそ浮ぶ瀨もあれ」にしての殺然たる態度が「身を捨てのことわざの通り立派な戰のことわざの通り立派なもたらしたものといへよう

第四期生奥田軍曹はノモハン戰闘で先づE十六型一機を擊墜したところ、敵操縱者は落下傘で降下を初めたので全軍曹は自機の翼端で敵の落下傘を引つかけて破損させ敵を墜死させた。しかるに自らも離脫の際翼の一部を破損し機の自由を失つた。隊長に歸還を命ぜられたが、そのとき隊長は敵九機に取り圍まれてゐた。これを見捨てて還られようかと傷つき身でこの戰闘に參加し勇奮戰遂にその威を以て敵を畏怖遁走させ、隊長と共に全き得た。

右のやうな例は數限りなくある。否少年航空兵の一人一人がいづれもすばらしい手柄を立ててゐるのだ。敵に機數が多いだけに新敵々々を迎へなければならない。一日に四回も五回も出動することさへざらにある「出動——」の報で食べかけの食事もそのまま出て行く。夜寢ないことも毎回の出動に生還を期さないのだ。これは單なる義務的觀念のみでは遂げられるものではない、常に積極的な攻擊精神、自我を捨て生死を超越の信念　純情性、最大の技術的習得等の綜合された結果である。

飛行機の本質上、その搭乘員は智能と體力の點に於て極めて優秀であるとともに沈着で感かよく、瞬間的判斷を誤ればいふ離實性の持つ素質が必要求される。また搭乘員として最も活動できる年齡は二十歳から二十歳位までといふ最元氣旺盛な若若しい時代で少くともそれ迄に一切の教育訓練を完了していはゆる一粒選りのエキスパートたらしめねばならない。大空に志す青少年の憧憬の登龍門の一つである少年航空兵制度はこの要求から生れたもので、海軍に遅れること數年、昭和五年であつた

創設以來十年、横須賀霞ヶ浦航空隊を巣立つて空の第一線に活躍してゐる世紀の若武者はすでに第八期を數へてゐる。土官の搭乘員一般志願兵から採用された下士官搭乘員、少年航空兵（乙種飛行豫科練習生）出身の搭乘員これに加ふるに昭和十二年廢止された航空兵（甲種飛行豫科練習生）等相次いで颯爽と空の檜舞台に立つ海軍航空兵の一日も早からんことを希ふのである。この重大な時期に於て少年航空兵の存在とその活躍は大いに期待されるのである

敵中で故障を空明

第三期飛行豫科練習航空兵出身者、海軍三等航空兵曹谷航空兵團の一員は、彼我の出動機數が格段の差であつた。わが軍は常に數倍、十數倍の敵を相手に空中戰闘を行つた。それにもかかはらず赫々たる戰果を收め得たのである

いまそのいくつかの例について讀者に戰闘の模樣を知つてもらひたいと思ふ

A

花田富男准尉は少年航空兵第一期生であるが、昨年五月からのノモハンの空中戰闘に參加し、九月三十三日殉職するまで、戰闘に參加すること實に百回その優秀な技術と旺盛な攻擊精神とは、戰闘激烈になるに從ひますます光輝を放ち、敵E十五、E十六戰闘機計二十五機を擊墜した

七月五日のことである。「敵機來る」の報に勇躍出動しハルハ河上空に於て爆擊機約十機及びわれに數倍する戰闘機約三十機と交戰し、先づ敵機一機を擊墜後、隊長機に從ひ逃げる敵を追擊してゐる時、不意に後方より敵一機の奇襲を受けたので直ちにこれと交戰擊墜し、隊長はと探したが見えない。ふと下方を見ると落下傘が降下してゐるのでこれに接近し確めると之が隊長だつた。花田准尉は周到にその周圍を飛行して護に任じ遂にボイル湖東方の車輛群の附近に隊長が接地したので今准尉は身の危險をも顧みず敢然その傍に着陸し、火傷を負つた隊長を救つて無事に基地に歸還したのだつた。その沈着と機敏と勇敢と、そして上官を思ふ至情は正に武人の亀鑑であらう。しかも功を誇らず隊長がかうなつたことは自己の護の不充分なるためと深く陳謝したのである

同じく第一期生の金丸軍曹は徐州攻擊戰に參加中、敵機と遭遇し之を擊墜すべく最初機銃をはなつたが射とめ得なかつたので再度引金を引いたがどうしたのか故障を起してゐるのでしかも敵兵の妨害に遭ひながら數日ならば「體當りで」と猛烈に敵機を追つた。敵機はたまらず逃げるばかり。かうして體當りの決意も深く地上近く五千メートルから二百メートル位の低空を追ふこと十五分間、最後に敵は操縱を誤り百メートル位の處から地上へ激突し木葉微塵になつてしまつた。この旺盛な攻擊精神、常に命を捨ててこそ浮ぶ瀨もあれ」にしての殺然たる態度が「身を捨てのことわざの通り立派な戰のことわざの通り立派なもたらしたものといへよう

第四期生奥田軍曹はノモハン戰闘で先づE十六型一機を擊墜したところ、敵操縱者は落下傘で降下を初めたので全軍曹は自機の翼端で敵の落下傘を引つかけて破損させ敵を墜死させた。しかるに自らも離脫の際翼の一部を破損し機の自由を失つた。隊長に歸還を命ぜられたが、そのとき隊長は敵九機に取り圍まれてゐた。これを見捨てて還られようかと傷つき身でこの戰闘に參加し勇奮戰遂にその威を以て敵を畏怖遁走させ、隊長と共に全き得た。

右のやうな例は數限りなくある。否少年航空兵の一人一人がいづれもすばらしい手柄を立ててゐるのだ。敵に機數が多いだけに新敵々々を迎へなければならない。一日に四回も五回も出動することさへざらにある「出動——」の報で食べかけの食事もそのまま出て行く。夜寢ないことも毎回の出動に生還を期さないのだ。これは單なる義務的觀念のみでは遂げられるものではない、常に積極的な攻擊精神、自我を捨て生死を超越の信念　純情性、最大の技術的習得等の綜合された結果である。

飛行機の本質上、その搭乘員は智能と體力の點に於て極めて優秀であるとともに沈着で感かよく、瞬間的判斷を誤ればいふ離實性の持つ素質が必要求される。また搭乘員として最も活動できる年齡は二十歳から二十歳位までといふ最元氣旺盛な若若しい時代で少くともそれ迄に一切の教育訓練を完了していはゆる一粒選りのエキスパートたらしめねばならない。大空に志す青少年の憧憬の登龍門の一つである少年航空兵制度はこの要求から生れたもので、海軍に遅れること數年、昭和五年であつた

創設以來十年、横須賀霞ヶ浦航空隊を巣立つて空の第一線に活躍してゐる世紀の若武者はすでに第八期を數へてゐる。土官の搭乘員一般志願兵から採用された下士官搭乘員、少年航空兵（乙種飛行豫科練習生）出身の搭乘員これに加ふるに昭和十二年廢止された航空兵（甲種飛行豫科練習生）等相次いで颯爽と空の檜舞台に立つ海軍航空兵の一日も早からんことを希ふのである。この重大な時期に於て少年航空兵の存在とその活躍は大いに期待されるのである

血達磨で上空旋回十數分

昭和十三年二月十八日漢口を襲ひ敵戰闘機四十數機と肚根源は飛行機に對して絶對の信頼をもつてゐるからである。

昭和拾二年八月拾四日に決行された第一回の渡洋爆擊は秒速二十六メートルを超える猛烈な颱風圏を突破して强行された。秒速二十六米を時速に換算すれば九十余粁　正に歐米戰爭初期の爆擊機の速力に等しい。この暴風の眞只中怒濤雲を噛む支那海を横斷雨と雲の壁をつざいて敵地に突入した神技に等しい卓拔の技倆はきることながら。速力の大、航續力の大、計器の精度、發動機の確度といふが如き近代航空機の高性能あつてはじめてよく卓拔の技倆を全幅發揮しうるものであることは何人も否定しえないところであらう

元來航空軍備といふものは必要な牲格を調べ操縱、無線、整備生徒たる資質を附與する。そしてそれぞれの適性を調べ操縱生徒に熊谷陸軍飛行學校に、無線生徒は水戸陸軍飛行學校に、整備生徒は陸軍航空政備學校に入學せしめられ皆二年間の專門的教育を受けることになつてゐる。こうして無敵だ」と異口同音に言はれたと言ふ。

今次事變の勃發、昭和十二年八月十四日のわが渡洋爆擊隊の一隊が猛烈な颱風を冒して抗州飛行場を空襲し格納庫三庫、外飛行機數機を爆破しなほ空中戰において敵機六機を擊墜して初陣の凱歌を奏した。

昭和拾二年八月拾四日に決行された第一回の渡洋爆擊は秒速二十六メートルを超える猛烈な颱風圏を突破して强行された。秒速二十六米を時速に換算すれば九十余粁　正に歐米戰爭初期の爆擊機の速力に等しい。この暴風の眞只中怒濤雲を噛む支那海を横斷雨と雲の壁をつざいて敵地に突入した神技に等しい卓拔の技倆はきることながら。速力の大、航續力の大、計器の精度、發動機の確度といふが如き近代航空機の高性能あつてはじめてよく卓拔の技倆を全幅發揮しうるものであることは何人も否定しえないところであらう

元來航空軍備といふものは必要な牲格を調べ操縱、無線、整備生徒たる資質を附與する。そしてそれぞれの適性を調べ操縱生徒に熊谷陸軍飛行學校に、無線生徒は水戸陸軍飛行學校に、整備生徒は陸軍航空政備學校に入學せしめられ皆二年間の專門的教育を受けることになつてゐる。こうして無敵だ」と異口同音に言はれたと言ふ。

今次事變の勃發、昭和十二年八月十四日のわが渡洋爆擊隊の一隊が猛烈な颱風を冒して抗州飛行場を空襲し格納庫三庫、外飛行機數機を爆破しなほ空中戰において敵機六機を擊墜して初陣の凱歌を奏した。

昭和拾二年八月拾四日に決行された第一回の渡洋爆擊は秒速二十六メートルを超える猛烈な颱風圏を突破して强行された。秒速二十六米を時速に換算すれば九十余粁　正に歐米戰爭初期の爆擊機の速力に等しい。この暴風の眞只中怒濤雲を噛む支那海を横斷雨と雲の壁をつざいて敵地に突入した神技に等しい卓拔の技倆はきることながら。速力の大、航續力の大、計器の精度、發動機の確度といふが如き近代航空機の高性能あつてはじめてよく卓拔の技倆を全幅發揮しうるものであることは何人も否定しえないところであらう

★劇の良く味の良い！
富士山印
醬油
ノロ醬カフエランジア醬
藤澤豊次郎

診療　午前九時より
時間　午後五時まで
北大醫學士
今田求
サンスル
電話　一四三
郵函　二〇二

Kanakao S/A
肥料　農具
藥品　ニカワ
カ・ナカオ化學工業株式會社
サンパウロ市テオドロ・サンパイオ街二七五六番
郵函　二一八六
電話　八一二五八七
支店　イタブーラ・デ・ミランダ街一七一一九
電話　二一六六三七

Casa Bancaria Almeida & Cia.
本店　マリリア市　アベニーダ・デース・デ・ノヴエンブロ 660　郵函 305
郵函305　電話 123　電信略號 BANCAL
支店　ガリア　カルタ　ゼブリーナ　ボンペイア　ランシヤリア　ヴエラクルース
資本金積立金　五百コントス也
八十四コントス二百六十五ミル九〇〇レース也
取引銀行
ブラジル銀行
イタロ・ブラジレイロ銀行
サンパウロ州銀行
サンパウロメルカンチル銀行
サンパウロ商工銀行
本行之特徴
小中商農業者の事業發展助成の爲に
棉一米一コーヒー等に
低利融資可仕候
預金々利
當座預金（トコントス）年四分
特別當座預金（以下）小切手無料進呈
定期預金　三ケ月　年五分ノ割
六ケ月　年六分ノ割
一ケ年　年七分ノ割
中途拂戻し金利月割計算
本支店共日本人行員勤務御便宜計るべく候

切り取り手紙へ
BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria N.°23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro
横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店
◉鄉里送金
御鄉里への御送金は送金人一人、受取人一人に付き毎月二コントス迄許可せられます。送金特別稅五分（五%）は弊店への御送金額中より差引き申受けます。
鄉里送金爲替は爲替管理法上特別自由爲替と申しまして一般の爲替取引から隔離されて居りますので相場も一般の爲替取引相場とは關係のない別個のものであること

Noticias de S. Paulo
(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)
DIRECTORA E PROPRIETARIA CELINA KOWYAMA
Caixa Postal, 2765
Telephone 7-0447
R. Condede S. Joaquim, 93
SÃO PAULO – BRASIL
ASSIG ATURAS
Anno - - - - - 40$000
Semestre - - - 20$000
Numero do dia - - $500
Exterior, anno - 100$000

パラグワイ政府が——成瀬領事に勲章贈る

パラグワイ國駐在領事より轉任した成瀬知事は、この程パラグワイ國政府より日本、パラグワイ兩國親善に多大の功勞ありたる伴にて勲章「オールデン・ナショナル、ミリツト」を贈られることとなつた

慰問と親善を兼て 代議士連の渡伯

政友民政擧つて代表を送る

（東京二十日同盟）民政黨では最近わが國と南米諸國との關係が益々緊密の一途をたどりつつあるに鑑みこれが對策の確立を圖るべく田中武雄外上政三兩代議士を南米方面へ派遣することにけつした出發の時期は未だ詳かならざるも五月初旬か遲くとも中旬頃とみられてゐる、兩氏は南米各國の國情を視察するほか興隆日本の尖兵として目覺ましき發展ぶりをみせてゐる在留同胞狀況を親しく見聞し激勵及び慰問の使命をも帶びての出發である（東京二日同盟）政友會中島派の皇軍慰問及び海外派遣議員は左の如く決定した、北支は五月初旬川島正次郎、曾和義式、中支は十旬大江知治、滿洲船田中、南米は來る八日サントス出帆のイタリー船でイタリー經由歸國することになつた

米でも珈琲でも 寄附募集に新手戰術

病院

最近の三水會の俳句に

粉ならは寄附しませうよ米作り
武骨

といふ句があらはれたが、この詠手武骨とは大河內辰夫氏のことで、國仁會理事である同氏は、丁度其の頃罹かれた理事會席上寄附金募集に就て具體案が討議され、現金寄附は仲々困難だが、米だとか珈琲なら容易に寄附が出來るだらう、と言ふ話が出たのをうまく摑んだ譯だが、この話は同理事會で金でなくても品物でも好いどんどん寄附してもらふ事に決定、病院寄附に新戰術を用る事となつた

日本病院の村井庶務課長はこの新手戰術を身に帶して昨夕國氏の宮巢たるモヂアナ線寄附募集行脚に旅立つたが米は愚かボルコでもフーロでもと初陣に勇み立つ

美術使の渡伯

（東京三十日同盟）過般ハ曲屏風に日本の典型的の生活及び歷史の場面を描き上げて評判を取つた後藤孤峰氏外六名の有名な現代日本畫家は國際文化振興會から近々ブラジルへ派遣されるが之は駐伯帝國大使の要請に基くものである一行の製作は一般にも公開されるが學校その他團體の招待にも應じ美術日本の紹介に一役受持つことになつてゐる

國產工業見本市

日本側にも參加勸誘

聖市工業聯盟會長ローバ・シモンセン氏は總領事館へ國產工業見本市開催の旨を通報した、期日は八月上旬だが日本は鐵關係團體の出來る丈の參加を希望してゐる、尙開催地は來伯、仝日來聖、エスプッナ

一千万圓を寄附

山下汽船社長が陸海軍へ

（東京二日同盟）山下汽船社長山下亨郎氏は一日午後陸軍省に阿南次官を訪ひ大陸に在る陸海軍人軍屬子弟の教育機關設立資金として金一千万圓を獻金、次官を感激させた大陸には陸海軍人軍屬の家族はその子弟の教育に多大の不便を感じてゐるのでその患ひを斷つ爲適當な學校を設立し將來有用な人材を發育したいといふのが山下社長の念願で陸海軍當局では近く協議の上教育機關設立に關する具體案を決定する事となつたが滿支の樞要都市をはじめ東京など五ケ所に中學校以上の教育機關を設立する事になる模樣である

木博士來聖

眞先に栗研を訪問

（かぶら）

先般來伯滯聖中の神戶日伯協會屬託原竹胤氏令孃千惠子さんからサンパウロ日伯文化研究會を通じてブラジルの子供へと贈られた日本みやげ高さ八十センチの美麗な人形（娘道成寺）の贈呈式は去る廿一、汎日會主催陸上競技大會右勝案を中心に討議した

日本の子から ブラジルの子へ 人形を贈る

八日午后八時よりマルチネリ會場で成瀨領事、野替副領事夫妻ブラジル學生聯盟代表並びに日本語科生徒出席の下に盛大に行はれた、尙式後カクテルパーティを開き歡談した

相馬速氏急逝

先來聖中太陽ホテルに養生中であつた相馬速氏は去る二十三日朝遽かに容態惡化し午時遂に臨終家族に看護れつつ靜かに死去した、餘に遽かな死去であつた爲も近親友人へ通知も行き屆かず葬儀にも間に合はずしてアラサ墓地に葬まれた、氏は熊本縣人、大正二年渡伯ノロエステ線カイサラ驛の今日あるパイオニヤその后リンス驛奥に共和植民地のパイオニヤ、ソロカバナ線バラグワス驛奥のパテシヤ町附近に昨年來三ヶ城の植民地開拓中であつたが未完成のまま逝つた、相馬勇氏の實兄である

國民政府答禮使 近く正式任命

（南京二日同盟・日本）我阿部全權大使始め官民慶祝使節一行の來支に答うべき國民政府の答禮使節としては、最初立法院長陳公博、監察院長梁鴻志、司法院長溫宗堯の三氏が擇ばれるものとみられてゐたが、其後汪首席代理を中心に審査人選の結果、陳公博、溫宗堯及び外交部長緒民公の三氏が選ばれるに內定、三氏は近く正式任命と共に隨員多數と十五六日頃南京出發東京に向ふ豫定である

軍艦「國後」進水す

（横須賀二日同盟・日本）横須賀鎭守府發表、來て鶴見製鐵造船所で建造中の軍艦國後の進水式は來る六日擧行される筈

島田司令官赴任す

（東京二日同盟・日本）今回支那方面艦隊司令長官に榮轉した島田繁太郎中將は三日午后三時東京驛發の富士で赴任の途に就くこととなつた

青木事務官 イタリー經由歸國

汎プロ聯日會 開拓史編纂

汎プロミツソン聯合日本人會では去る二十二日午前十一時半から同地元日本人小學校で役員會を開催した、出席者は鈴木、櫻田正副會長、平田青木會長開會の挨拶を述べ直に議事に移り左記議案提上

一、プロミツソン開拓史編纂の件
一、二千六百年紀念祭並に先驅者慰靈祭擧行の件
一、會館建設基金募集促進の件
一、學校協議會と汎プロ日會合同の件

▼米船アルゼンチーナ號野球團の挑戰に應じ蜂谷チームは去る廿九日下棧、小雨降る惡コンディションを衝いてこれと鋒を合せたが戰は果然猛烈な接戰となり、觀衆の興味をそそつた！三回の裏蜂谷が一擧に獲得した五點が物を云ひ五A三で蜂谷快勝した

▼去る三十日夜神戶日伯協會派遣使節原竹胤氏夫妻主催で近く退伯に就き惜別實が催されたが席上商引などあり盛會であつた

▼北パラナ通信——パンデイランテ在住の町田重吉氏長男秀雄君（十八）は豫てより當市飛行隊の航空兵として出願中の處去る廿日附で許可あり五月一日勇躍入隊した

▼兩米興業の上海蘇戰隊も檢閱通過、上映の運びになるが激戰場面が多い爲十才以下の兒童は入場禁止になる模樣

▼昨年五月タバチレグーラ街に內國品輸入品雜貨卸し專門ミツキ商會を開いた水森嘉顯君そろそろ基礎が固つてきたので愈本格的に事業を擴張すべくシルヴエイラ・マルチンス街七八（海興並びに移轉カーザミツキ越後山崎商會として店舗を張つた

▼伯國邦畫の平田君今度の「女の友情」地方巡演に添えてブラヂル丸の狀景、水泳選手の活躍、井上園子さんなどを收めたフイルムを上映することとなつた

▼日本へ行つてゐる見學團今長マリオ君の日本研究のしを集「オブセルバソン・ソブレ・オ・ジヤポン」（日本の觀察）が小冊子となつて日本文化研究會から發行された

▼廿九日の早帝野球第二回戰は十二對五で早大勝つ（三十日同盟）

▼ヴウルー領事館の加治木常磨書記生は歸國の爲三十日朝來聖

▼爭歲程休刊してゐたアラサツーバの日伯協會新聞が再刊した。パラベンス

市況

（伯國經濟調査所調）

▲アルゴドン五品級 三十日
アグーリヤ（ボン） 六、〇〇〇
アロース 五、〇〇〇
カテケ（トス） 四、〇〇〇
同（ボン） 三、〇〇〇
▲砂糖（トス） 三、五〇〇
▲小麥粉（ボン） 五、〇〇〇
▲モーナ 一、〇〇〇
▲カフエー（四級品） 一八、五〇〇
▲ミーリヨ 一五、六〇〇
アマレリンニヨ 一五、五〇〇
アマレロン
▲フエジヨン
▲ムラチーニヨ 四、〇〇〇
同（ボン） 三、〇〇〇
▲バタタ 四、〇〇〇
スペリオール 四、〇〇〇
ボン
▲トマチ（箱） 六、〇〇〇
▲レボーリヨ（袋） 六、〇〇〇
▲エルヴイリヤ（箱） 三、〇〇〇
▲ピメントン（箱） 一〇、〇〇〇
▲パージエン（箱） 一〇、〇〇〇
▲ペピーノ（箱） 二、〇〇〇
▲ポブリーニヤ（箱） 八、〇〇〇
▲セノーラ（二打） 三、〇〇〇
▲玉子（打） 四、三〇〇

野菜部

三十日

日本の子から ブラジルの子へ

先般來伯滯聖中の神戶日伯協會屬託原竹胤氏令孃千惠子さんからサンパウロ日伯文化研究會を通じてブラジルの子供へと贈られた日本みやげ高さ八十センチの美麗な人形（娘道成寺）の贈呈式は去る廿一、汎日會主催陸上競技大會右勝案を中心に討議した

日本の子から ブラジルの子へ 人形を贈る

八日午后八時よりマルチネリ會場で成瀨領事、野替副領事夫妻ブラジル學生聯盟代表並びに日本語科生徒出席の下に盛大に行はれた、尙式後カクテルパーティを開き歡談した

マリオ君がブラジル向け放送

ぶらじる丸で日本へ向つた學生日本文化見學團々長マリオ・ランダ、副團長ルツカの兩君は日本時間三日午前六時四十五分ブラジル時間で本夕六時四十五分より伯國向け、日本見學感想談を放送する

五日の實業野球戰延期

來る五日の實業野球は左記の理由により延期することなり五日の試合は實業リーグ規定に基き、五月二十六日に擧行從つて決勝戰は六月二日となる

市立綜合運動場開場記念運動週間中は他の一切の運動は中止すべき旨州令が發令さ

綜合雜誌 新ブラジル發行に就いて

本社の第一事業「在伯邦人職員錄」並びに第二事業「在伯邦人名錄」編纂につきましては、皆樣の厚き御援助を辱ふし、御陰樣で職員錄は、一九四〇年々報と共に目下印刷を急いで居りまして來る六月中には配本申上げる予定であります。又人名錄の方は目下二十名の本社員が各地方に出向きまして其の調査に全力を擧げて居りますが、何分困難な仕事でありますので、此上とも御援助と御ん達とを御願ひ申上げます

扨て今般、豫て本社創立當初よりの計畫でありました定期刊行物發行の準備が完了致しましたので、愈々來る六月から左記の樣な雜誌を發行することになりました。

▽誌名 新ブラジル NOVO BRASIL
▽發行 毎月一回 十五日
▽頁數 一〇〇頁
▽定價 一部 三錢 ▼一年 一六ミル ▼半年 一一ミル ▼一年 三〇ミル

新ブラジル發行の目的は、我々植民地生活者の間に缺けて居る心の溫かみの糧となる讀物、難かしいもの專門的なもので無い平易な明るい、それによつて私共が、ともすれば激しい植民地生活によつて見失なをうとして居る情味の壺に注ぎ差す油たらしめよう、とすることを第一として、第二に、我々日本人のほんたうの好さを此國の人々に知つて貰ひ度ひ、種々の事情から誤解されて居る、少くとも正しく理解されてゐない同胞のほんたうの姿をブラジル人にもつと良く理解して貰ひ度いと云ふ、此の二つに盡きます。

かうした目的を以つて發行される雜誌は決して一本社だけの努力で完全に出來上るものではなく、皆樣の良き御諒解と御共鳴に基き、その御援助、御協力によつてのみ始めて完成されるもので、これは固り本社のみで私すべき雜誌でなく皆樣御自身の雜誌でなくてはなりません。私共は此の氣神で本誌を作り上げて參ります。何卒宜敷御引立てを御願ひ申上げます

一九四〇年四月

日伯情報社
聖市ルア・コンセレイロ・フルタード二二五
寫眞 聖市 一六一

告

「在伯鹿兒島縣人植民史編纂のため」ノロエステ線在住の縣人訪問中の處、其の調査も近々終了致す事になりました。引續き直ちにパウリスタ延長線、ソロカバナ線、北パラナ線の調査に取かかります。就きましては右三線に在住の縣人諸氏に御多忙中甚だ御面倒ながら姓名、住所、渡伯年月日を御一報下さい。簡單ながら右紙上を以て御依賴致します

昭和十五年四月二十五日

「在伯鹿兒島縣人植民史」編さん事務所
Rua Fernão Lias 634 - Pinheiros - S. PAULO
パ延長線 ソロカバナ線 北パラナ線
在伯鹿兒島縣人各位

FOTO Kojima DUX
兒島寫眞館
ラルゴ・ド・テゾロ二十一番
（三階）電話二—七五八七

淋病
如何なる淋疾も五日で完全治癒
北米式ケタリング法（洗滌注射を用ひず）
廉價
Dr. Heitor Fenicio
Av. S. João 536 2and
Tel. 41188 S. Paulo

女の友情
▽特別追加上映最新ニュース映畫△
▼豪華船ブラジル丸の處女航海
ラジオ、サントスの盛觀
▼水上王國日本のホープ
遊佐、桑窪選手のブラジルに於ける大活躍實況
▼音樂日本の麗人ピアニスタ
井上園子さんのラジオ、サンパウロに於ける演奏實況
——豪華プログラム都市上映決定——
五月一日 ランシヤリア 九日 大リンス 七時と
二日 ブ・ブルヂンテ 九時半より二回上映
四、五日 パストス 十日 アラサツーバ
六日 ガルサ 十三日 グワラペス
八日 大マリリア 十四日 カフエランジヤ
伯國邦畫興行社提供
R. Dr. Lund 56, Fone 26790 S. PAULO

夫改藏儀長らく靜養中の處養生相叶はず去る二十二日午後一時永眠致候間生前辱知諸賢に謹告候

猶殘葬一際しては御多忙中態々御會葬被下且亦過分の御香奠を賜り有難く御禮申上候

四月二十三日
ノロエステ線プロミツソン町
妻 木本シカ
長男 木本義雄
次男 木本正幸
親族代表 木本德藏
知人代表 池戸中次郎 房井正人 黑島伊平治 村上茂人

速儀豫て出聖病氣療養中の處藥石の効無く去る廿三日午前拾時永眠致し翌廿四日アラサ墓地に埋葬仕り候間生前辱知諸賢に謹告仕り候

追而葬儀の際は御多忙中遠路態々御會葬引續御參墓且又過分なる御香奠並に花環を賜り御芳志の程厚く御禮申上度乍略儀紙上を以て御禮申上候

昭和十五年四月二十八日

妻 相馬ハナエ
父 金武
長女 ミヨ子
長男 忠雄
二男 憲成
二女 カホル
三女 レイ子
四女 ユリ子
三男 ネルソン
四男 偉童
五男 利明
六男 清次
七男 康德
弟 相馬勇 ツボミ 平藏 モトメ

婚 西村龍維
親戚總代 川口寬
岡島定士
友人總代 內山吉藏
緒方五郎